

平成19年 5月25日



各 位

会 社 名 株式会社 レオックジャパン  
代表者名 代表取締役社長 小野寺 裕司  
(コード番号 2366 )  
問合せ先 経営企画・IR室 中村 慎二  
(TEL. 03 - 5775 - 6735 )

## 平成19年3月期通期(連結・個別)業績予想との差異に関するお知らせ

下記の理由を踏まえ、平成19年2月28日に公表いたしました平成19年3月期通期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想(連結)並びに平成18年12月7日に公表いたしました平成19年3月期通期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想(個別)との差異について、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成19年3月期 個別業績予想との差異等

(1) 通期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	2,300	1,400	1,400
今 回 修 正 ( B )	1,775	923	508
増 減 額 ( B - A )	525	477	892
増 減 率 (%)	22.8	34.1	63.7

#### 2. 平成19年3月期 連結業績予想との差異等

(1) 通期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	53,500	630	2
今 回 修 正 ( B )	53,363	773	47
増 減 額 ( B - A )	137	143	45
増 減 率 (%)	0.3	22.7	-

### 3. 業績予想との差異の理由

#### (1) 個別業績(通期)

売上高については、当該期決算作業の過程において、当社会計監査人からの指摘もあり、連結子会社による剰余金の処分額のうち、その他利益剰余金の処分による配当の原資が、当該子会社への投資以後に当該子会社が計上した留保利益の額を超えている部分の会計処理を、従来方針の受取配当金から払込資本の払い戻しとして処理することにした結果、前回発表値と比べて5億25百万円減少し、17億75百万円となりました。

経常利益につきましても、上述の会計処理の見直しにより、前回発表値と比べて4億77百万円減少し、9億23百万円となりました。

当期純利益につきましては、上述の会計処理の見直しに加え、一部の連結子会社を対象とした関係会社株式評価損計上により、前回発表値と比べて8億92百万円減少し、5億8百万円となりました。

#### (2) 連結業績(通期)

連結の売上高につきましては、平成18年9月27日に連結子会社化した㈱ライフコミュニケーションにおける介護サービス事業の入居金収益が前回予想を下回ったこともあり、前回発表値と比べて1億37百万円減少し、533億63百万円となりました。

連結の経常利益につきましては、医療制度や介護保険制度の改正など、給食事業を取り巻く外部環境は引き続き厳しいものの、当該事業における販管費削減の進捗もあり、前回発表値と比べて1億43百万円増加し、7億73百万円となりました。

連結の当期純利益につきましては、上述の経常利益増、一部固定資産の減損並びに税効果会計もあり、前回発表値と比べて45百万円増加し、47百万円となりました。

以 上